

パブリックコメント実施結果

実施期間：平成19年11月20日～12月19日 意見のあった人数：1名

I 策定にあたって

2 策定の背景

頁	提出された意見	市の考え方
1頁	島田市の将来像『フレッシュ牧之原 ゆうゆう大井川 未来へはばたけ輝創都市』について、辞書にない造語の「輝創都市」という言葉は文言に造詣の深い教育委員会としては使用を控える配慮が必要。せめて基本方針から始めるべき。	<p>島田市では『フレッシュ牧之原 ゆうゆう大井川 未来へはばたけ輝創都市』という将来像（キャッチフレーズ）を掲げ、大井川とお茶で結ばれた古くからの地域のつながりを大切に、更なる“輝き”と“創造”により、魅力あるまちづくりを目指しています。</p> <p>この“輝創都市”という言葉（造語）は、島田市の色々な素材が“輝き”を放ち、“創造”的な取り組みを進める中で、その“輝き”と“創造”が相乗的にまちの魅力を高めていくようなまちになることを願って使用しています。</p> <p>本大綱は、新市建設計画をまちづくりの基本理念として位置付け、この将来像を実現させるため、生涯学習活動の指標にしていくものであります。</p>

3 策定の指針

頁	提出された意見	市の考え方
1頁	科学技術の進展、個の尊重や市町村合併時の要因であった市民の交流範囲の拡大などもあげるべき。	<p>“社会環境の変化”の要因としては、例示したもの以外にも様々なものがあるため、全てのを例示することはできませんが、科学技術の進展なども大きな要因なので、下記のとおり変更いたしました。</p> <p>変更前 「地域住民の意識の多様化、地域への関心の無さ、家庭教育力の低下、少子高齢化の進展、犯罪の多発・低年齢化など」</p> <p>変更後 「地域住民の意識の多様化、家庭教育力の低下、少子高齢化の進展、犯罪の多発・低年齢化、科学技術の進展、市町村合併による交流範囲の拡大など」</p>
1頁 2頁	列挙された課題に個々人の生涯学習が欠落している。	<p>個々人の生涯学習は大切なことです。ここでは市民参画の推進や生涯学習によるまちづくりなどに含まれると考えており、加筆による修正はしません。</p>

II 基本構想

頁	提出された意見	市の考え方
2頁	前文中の「個個人」、「暁」の使用は疑問。	<p>下記のとおり変更します。</p> <p>変更前 「個個人」 変更後 「個々人」</p> <p>変更前 「暁」 変更後 「とき」</p>
2頁	○『地域づくり』では、「協力」も大切であり、「豊かに発展させていくことが大切です」ではなく、「豊かで発展する地域を作ります」。	<p>下記のとおり変更します。</p> <p>変更前 「豊かに発展させて行くことが大切です。」</p> <p>変更後 「豊かに発展する地域をつくるのが大切です。」</p>

V 生涯学習推進計画フローチャート

頁	提出された意見	市の考え方
5頁	具体的な推進計画に講座で片付ける部分が多過ぎる。	ご意見のとおり講座の開催などが多くありますが、生涯学習を推進するため学習機会を提供する一環として、講座を充実することで生涯学習推進に繋がると考えます。また、この他にもいろいろな方法について市民の皆様と一緒に考えていきます。
5頁	金谷宿大学・しまだ楽習の「活用」と「充実」の違い。	世代間の課題を達成するための手段として金谷宿大学などを活用します。また、楽しく学んで豊かな生活を送るため、様々な分野の学習機会を提供するよう一層の内容充実を図っていきます。
5頁	地域リーダー、インストラクター、アドバイザーの任務の相違。	次のとおり考えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー コミュニティ活動等で核となる人 ・インストラクター 講座などの企画立案や運営をする人 ・アドバイザー 生涯学習全般について市民の相談に応じて助言をする人

VI 推進施策・推進計画

頁	提出された意見	市の考え方
7頁	2 「いくつになっても」ではなく「つねに」ではないか。	「いくつになっても学ぶ」とは、年齢に関係なくという意味で使用させていただきました。「つねに学ぶ」は、常時・継続的という印象があるため、ここでは「いくつになっても」とします。
7頁	2(1)① 「技能を身につける」の前に「一般的知識・教養を身につける」必要がある。	ご意見のとおり「一般的知識・教養を身につける」ことは必要であると認識しています。 大綱では、「5 社会的に自立する」の「(1) 社会の一員となるための学習」の「①体験学習・各種講座の開催」で下記のとおり表現しており、その中に含まれるものと考えます。 「社会的な生活習慣やモラル、マナーなどを身につけるため、自然体験・社会体験学習や各種講座を開催し、人間関係づくりの基本的能力の育成に努めます。」
8頁	3(2)① 「IT時代の到来」が自然と触れ合う機会を少なくしているのではない。	下記のとおり変更します。 変更前 「IT時代の到来」 変更後 「TVゲームなどの普及」
8頁	3(2)② 伊久身農産物加工体験施設やまゆりは民間営利施設でありここだけを推進計画に含めるのはいかがなものか。	下記のとおり変更します。 変更前 「野外活動センター山の家、伊久身農産物加工体験施設やまゆりなどの生活体験施設での体験や公民館講座などを充実し」 変更後 「野外活動センター山の家や公民館などでの生活体験を通じて」
9頁	4(2)① 「趣味についての講座や教室を開催し」に「支援」も挿入すべき。	講座・教室を開催するなど、学習の機会を提供することが支援であると考えます。下記のとおり変更します。 変更前 「趣味についての講座や教室を開催し、趣味を広げる学習の機会を提供します。」 変更後 「各種の講座や教室を開催するなど、趣味を広げる学習の機会を提供します。」

頁	提出された意見	市の考え方
11 頁	5(1)③ 「総合型地域スポーツクラブ」の具体像が見えてこない。	<p>平成12年9月に文部科学省が発表した「スポーツ振興基本計画のあらまし」の方策に「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実」を挙げています。その必要な施策として、「平成22年度までに全国の各市町村に1つ以上のクラブを設立すること」としています。</p> <p>島田市では、平成18年12月に金谷地区の有志が総合型地域スポーツクラブ（仮称）プラスワン設立準備委員会を設立しました。</p> <p>現在、平成21年春の設立を目指し、さまざまな事業に取り組んでおります。</p>
11 頁	5(3) 「国際交流」にグローバル化の進展にあわせ国際交流の推進を謳うべき。通訳や外国語翻訳のサポート体制充実も必要。	5(3)①市内在住外国人との交流、②姉妹・友好都市交流などを推進する中で、国際交流の推進や通訳・翻訳のサポート体制の充実も図られていくと考えます。ここでは改めての表記はしません。

その他

提出された意見	市の考え方
「具体的な推進計画」に誰が？いつ？が欠けている。また、現在行われている各課の講習講演等とどう関係するか記すべき。	本大綱は、生涯学習を推進するための基本的理念をまとめたものなので、“誰が、いつ”や各課の講座などの具体的な表記はいたしません。
大綱全体を具体的な推進計画まで個人の責務、組織の役割、行政の分担業務と分けるのもひとつの方法かと思う。	本大綱は、生涯学習の推進について、市民と行政が目指す共通の指標として市民が作り上げた提言書が基となっています。市民一人ひとりが現代的課題を自分たちの問題として考え、市民と行政が一体となり、生涯学習を推進するという観点からまとめたものであるため、業務区分なく表記いたしました。